

# J's REPORT

第66期 株主通信 [ 2018年4月1日～2019年3月31日 ]



## To Our Shareholders

株主の皆様へ

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第66期株主通信をお届けするに当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

当期の経営成績につきましては、海外市場での需要の活況を背景に、グローバルゲーミングセグメントが業績の牽引役となり、増収増益を達成することができました。また、これまでの株主の皆様のご支援に報いるため、株式上場25周年の記念配当を実施いたしました。

進行年度は、本年5月公表の「新中期経営計画」ローリングプラン(Ⅳ)の最終目標数値を前倒しで達成できるよう、当社グループの総力を挙げて取り組んでまいり所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続きご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

2019年6月

代表取締役社長 上東洋次郎



### 第66期定時株主総会決議ご通知

2019年6月26日開催の当社第66期定時株主総会において、下記のとおり報告及び決議されましたので、ご通知申し上げます。

記

#### 報告事項

1. 第66期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件  
本件は、上記内容を報告いたしました。
2. 第66期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)計算書類報告の件  
本件は、上記内容を報告いたしました。

#### 決議事項

- 第1号議案 取締役8名選任の件  
本件は、原案どおり承認可決され、取締役として上東宏一郎、上東洋次郎、高垣 豪、吉村泰彦、井内良洋の5氏、社外取締役として吉川興治氏が再選され、それぞれ重任いたしました。また、上野光宏、中谷議人の両氏が新たに取締役として選任され、それぞれ就任いたしました。
- 第2号議案 監査役1名選任の件  
本件は、原案どおり承認可決され、寺岡路正氏が新たに監査役として選任され、就任いたしました。
- 第3号議案 取締役賞与支給の件  
本件は、原案どおり承認可決されました。
- 第4号議案 取締役に対する譲渡制限付株式の割当てのための報酬決定の件  
本件は、原案どおり承認可決されました。

以上

# 新時代に適応できる 事業基盤を構築



**Q** 当期(第66期)の業績について、概要をご説明ください。

**A** **増収増益を達成**

当期の業績は、売上高については、海外コマース(金融・流通・交通等)セグメントと遊技場向機器セグメントでは、市場環境の影響などから低調に推移しましたが、プリンター事業を含めたグローバルゲーミングセグメントが好調であったことから増加いたしました。利益面についても、グローバルゲーミングセグメントでの増収効果が大きく貢献したことから、増益を達成することができました。

**Q** 今年5月に公表した「新中期経営計画」ローリングプラン(Ⅳ)を踏まえて、進行年度(第67期)の取り組みをお聞かせください。

**A** **時代の変化に適応できる事業基盤づくりがテーマ**

「新中期経営計画」ローリングプラン(Ⅳ)では、対象期間の事業環境について、海外ゲーミング市場では当期のような特需は収束に向かい、コマース市場では決済機能に関する技術革新の進行から需要の多様化が一層進み、また、遊技場向機器市場では厳しい環境が続くものと見込んでおります。

このような事業環境の見通しを踏まえ、新中期経営計画では、新しい時代に適応できる事業基盤を構築するため、技術開発力の強化に取り組みながら、各地域や市場のニーズに沿った製品の先行開発投資を行い、新規市場の開拓に取り組むこととしております。また、それぞれの市場で顧客のニーズを汲み取った製品作りやサービスの提案を行って収益の確保に努めながら、数年後に予定されている日本IR(統合型リゾート)や日本紙幣の刷新などへの対応も並行して進めてまいります。

新中期経営計画の初年度となる進行年度は、コマース市場向けに投入した新製品の販売拡大に努めるとともに、財務面では固定費の削減や棚卸資産の圧縮などに注力する

ことにより、新中期経営計画の最終年度の目標値を前倒しで達成できるよう、当社グループの総力を挙げて取り組んでまいります。

**Q** 最後に、利益還元の方針をお聞かせください。

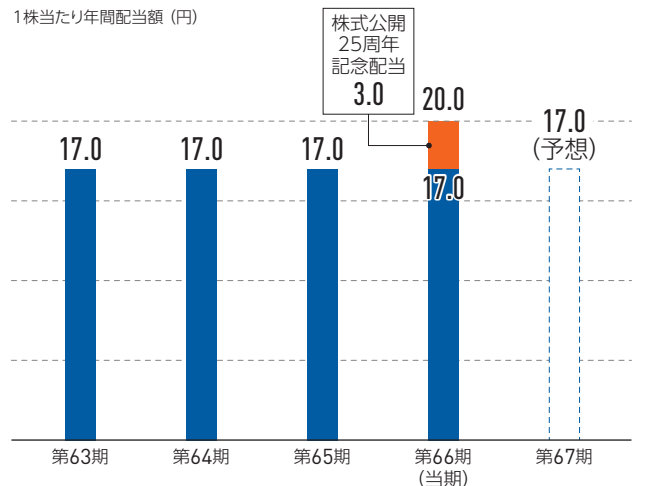
**A** **株式上場25周年記念配当を実施**

当社グループの利益還元に関する基本方針は、①成長戦略の実現による利益の拡大を通じた配当額の増加と、②株主の皆様への利益還元である配当の安定的な実施、の2点を勘案して、連結配当性向30%以上を基本に、純資産配当率にも配慮して、具体的な配当額を決定しております。この基本方針に従い、当期の期末配当金については、1株当たり8.5円の普通配当に、2018年9月に当社が株式公開から25周年を迎えたことを記念して1株当たり3円の記念配当を加えて、1株当たり11.5円とし、中間配当金と合わせて年間20円といたしました。なお、進行年度の配当については、年間17円を予定しております。

株主の皆様には、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

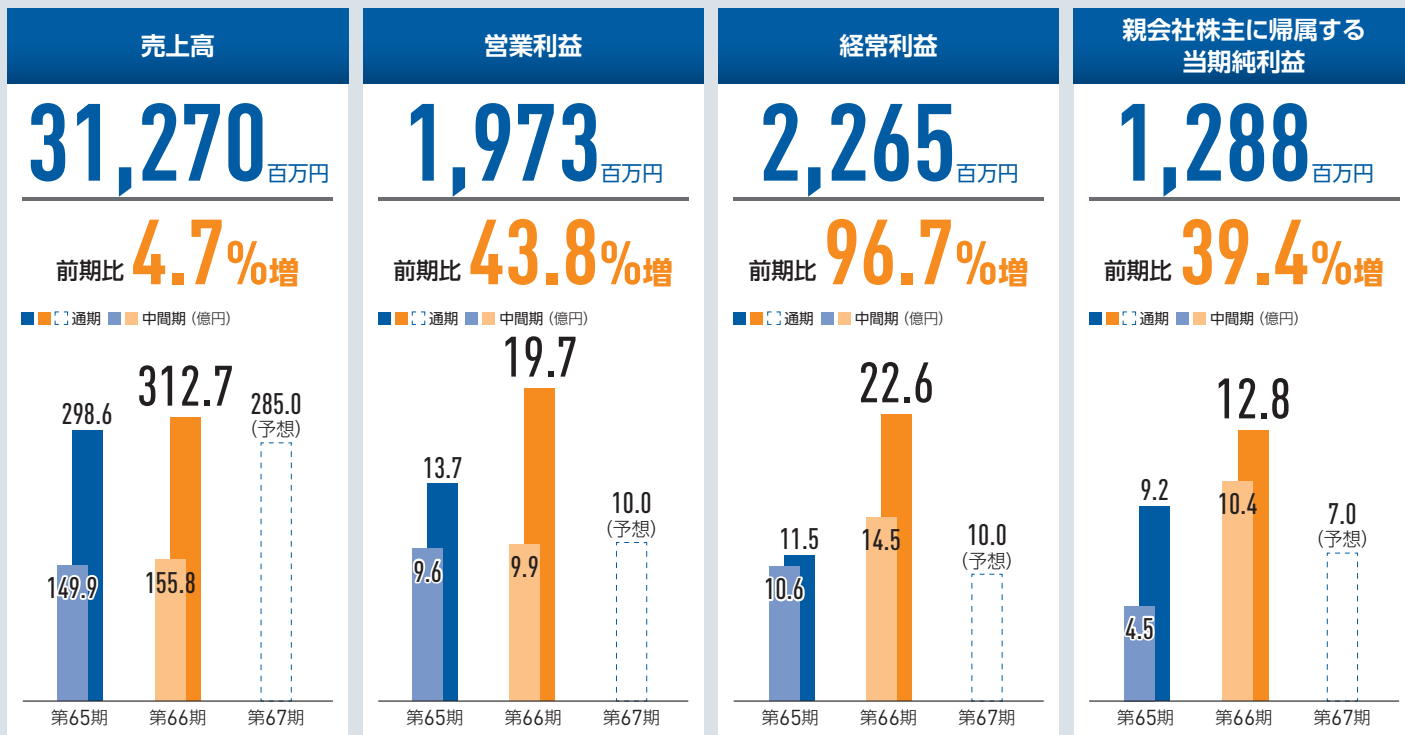
## 配当金の推移

1株当たり年間配当額(円)



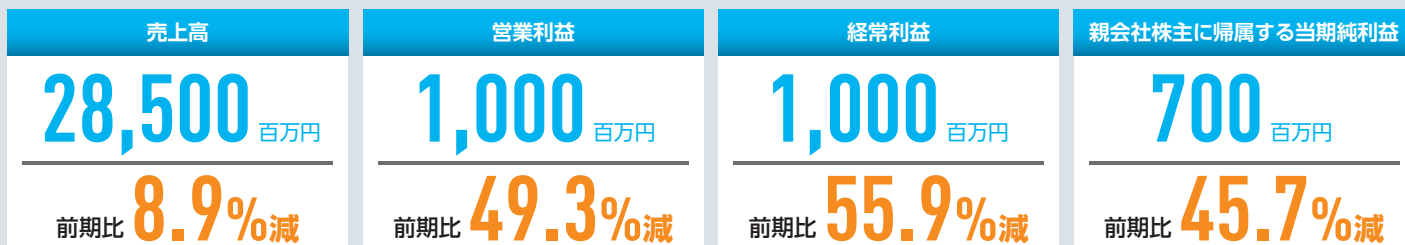
## 第66期

米国での減税施策の相乗効果としてのカジノホールの設備投資の活性化に加え、ドイツでのゲーム機に関する基準改定(仕様変更)に伴う駆け込み需要などにより、グローバルゲーミングセグメントが好調に推移したことから、前期と比較して売上高は増加し、各段階の利益も前期比で増加いたしました。



## 第67期の見通し

主力のゲーミング市場では、ドイツにて駆け込み需要の反動減が見込まれ、また、米国での設備投資も沈静化が進むことが想定されることから、売上高は当期より減少するものと予想しております。利益面でも、開発経費の先行的支出などの影響により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、総じて当期より減少するものと想定しております。

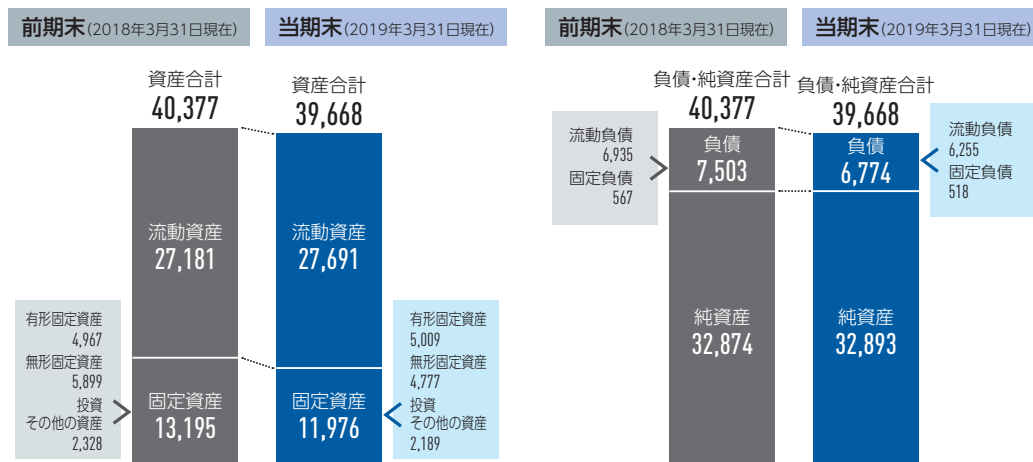


注) 本株主通信においては、第2四半期累計期間(6か月)を便宜上、全て中間期と表示いたしております。

# Consolidated Financial Statements

## 連結貸借対照表

(単位: 百万円)



### POINT

#### 資産

資産は、2014年に実施した企業買収の際に計上した無形固定資産である「のれん」等の償却が進んだこと、及び被買収会社の統合に伴い、当該企業の商標権を一括償却したことにより、減少いたしました。

#### 負債

負債は、「支払手形及び買掛金」の減少及び「事業構造改善引当金」の取崩しなどにより流動負債が減少いたしました。

## グローバルゲーミング

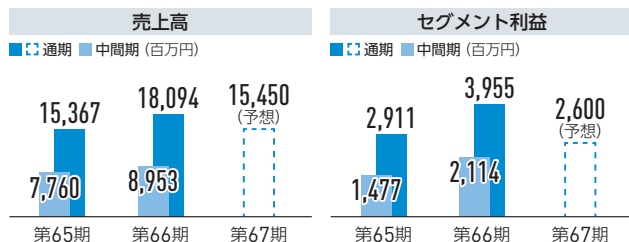


紙幣識別機ユニット i-VIZION

売上高 **18,094** 百万円 前期比 17.7%増

セグメント利益 **3,955** 百万円 前期比 35.9%増

- 北米地域での良好な市場環境を背景に紙幣識別機ユニット等の販売が堅調
- 欧州地域、特にドイツでの紙幣選流ユニットの販売が好調



## 海外コマーシャル

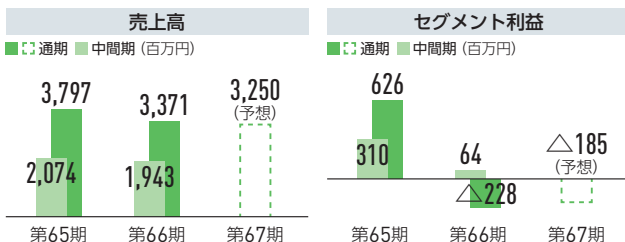


2金種紙幣選流ユニット i-PRO-RC

売上高 **3,371** 百万円 前期比 11.2%減

セグメント利益 **△228** 百万円 前期は 626百万円の利益

- 北米地域での医療向け・駐車場向けプリンター製品の販売が減少
- 中国・インドなどアジア地域での各種製品の販売が苦戦



## 国内コマーシャル

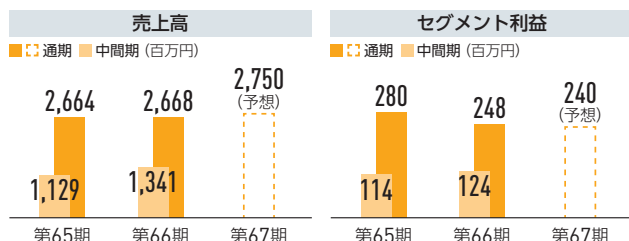


自動外貨両替機 CE-i6

売上高 **2,668** 百万円 前期比 0.2%増

セグメント利益 **248** 百万円 前期比 11.4%減

- OEM顧客向け貨幣処理機器ユニット・紙幣選流ユニットの販売が好調
- OEM顧客向け券売機等の需要が減少



## 遊技場向機器

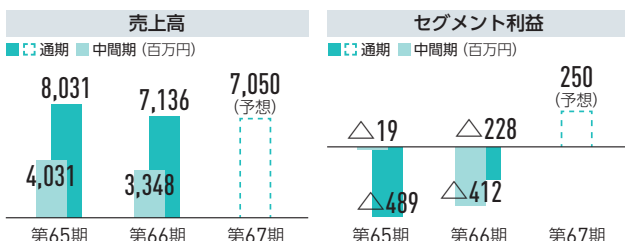


メダル自動補給回収システム SR-7000

売上高 **7,136** 百万円 前期比 11.1%減

セグメント利益 **△228** 百万円 前期は 489百万円の損失

- メダル自動補給システム・玉貸機等主力製品の販売が減少
- 前期に実施したアミューズメント事業の廃止による減収

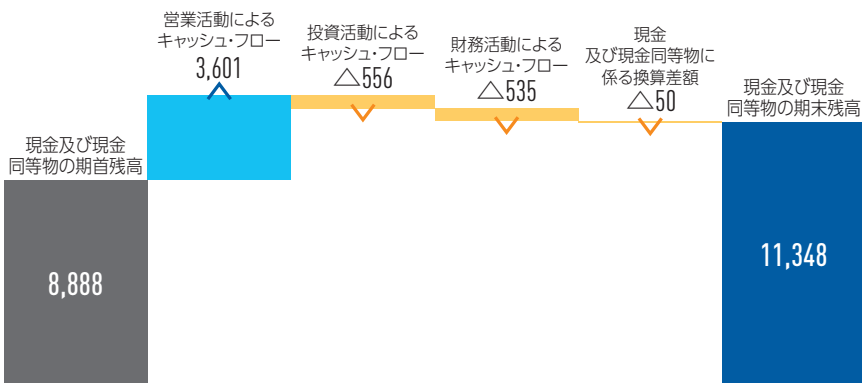


## 連結財務諸表

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)



#### POINT

#### キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、グローバルゲーミングセグメントが好調だったことやたな卸資産を始めとした運転資本の減少などにより、36億1百万円増加いたしました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出などにより5億56百万円減少いたしました。また、財務活動のキャッシュ・フローにおいて、配当金の支払いなどにより5億35百万円減少いたしました。

# Pick Up

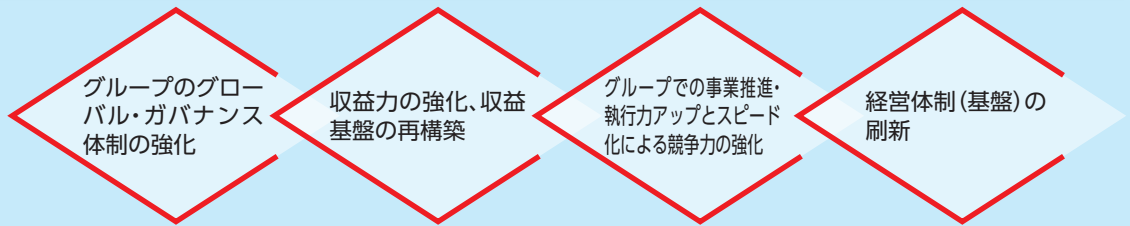
第67期から第69期  
までを対象とする

## 「新中期経営計画」ローリングプラン(Ⅳ)を策定

当社グループは、第67期から第69期までを2022年度以降の新たな成長軌道への橋渡しとしての重要な期間と位置づけ、「中期経営計画」ローリングプラン(Ⅲ)の全面的な見直しを行いました。

### 基本方針

グループ全体の  
企業価値向上に  
向けた収益構造・  
経営体質の改善



### 重点施策

1 新規事業領域の拡大

2 既存事業領域の収益性の改善

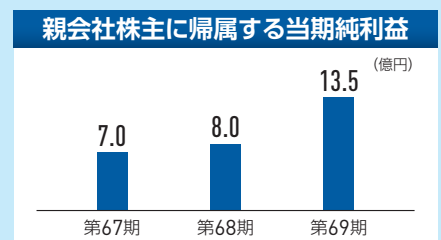
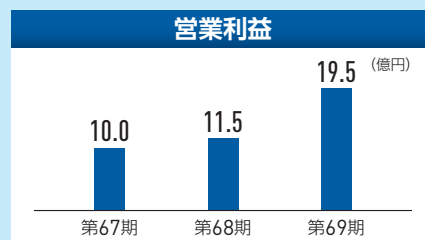
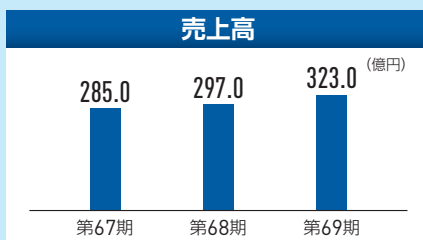
3 第4の事業部門(※)の創造

4 1~3の施策に対し、財務・人事戦略等により最適な経営資源を傾注

※ゲーミング事業、コマーシャル事業、遊技場向機器事業に続く新たな事業部門を指す。

### 「新中期経営計画」ローリングプラン(Ⅳ)の定量目標

【連結業績】



主な最終年度目標

営業利益率

6%

ROE

4%

## Topics

### 1 第4回 ジャパン・ゲーミング・コンGRESSにスポンサーとして協賛

今年の5月に、当社グループが第1回よりスポンサーとして協賛する「ジャパン・ゲーミング・コンGRESS (JgC) 2019」が東京にて開催されました。日本での統合型リゾート (IR) について活発な意見交換が行われる中、当社グループもコーディネーター等の立場で、運営に貢献いたしました。



本会議にてディスカッションを行った当社米国子会社のマーケティング責任者Dave氏



ディナーパーティーにてスピーチを行う上東社長

### 2 国内外の様々なショーに出展

当社グループでは、ゲーミング業界のショーに加え、市場開拓を進めるコマーシャル業界のショーにも多数出展しており、商談機会の獲得を通じて、製品の販売拡大や新規ビジネスの発掘につなげております。



ICEショー 2019  
(2019年2月5日~7日)  
英国(ロンドン)で開催された欧州最大のゲーミングショー



EuroCIS 2019  
(2019年2月19日~21日)  
ドイツ(デュッセルドルフ)で開催された欧州最大の金融、流通、交通等に関する展示会



Seamless Payments Middle East 2019  
(2019年4月10日~11日)  
UAE(ドバイ)で開催された金融、流通等に関する展示会



リテールテックJAPAN 2019  
(2019年3月5日~8日)  
東京で開催された流通業界向け展示会

## 会社概要

商号	日本金銭機械株式会社 JAPAN CASH MACHINE CO., LTD.
設立	1955年1月11日
本社	大阪市平野区西脇二丁目3番15号
東京本社	東京都中央区東日本橋二丁目23番2号
資本金	2,216,945千円
当社グループ拠点 (国内営業拠点)	大阪、東京、札幌、仙台、名古屋、松山、福岡
(海外営業拠点)	ラスベガス(米国)、デュッセルドルフ(ドイツ)、 ミルトンキーズ(英国)、シドニー(豪州)、 マカオ、上海(中国)
(研究開発拠点)	大阪、東京、バンコク(タイ)
(生産拠点)	長浜(滋賀)、香港、深圳(中国)

## 取締役及び監査役 (2019年6月26日現在)

取締役 会長	上東 宏一郎
代表取締役 社長	上東 洋次郎
常務取締役	高垣 豪
取締役	吉村 泰彦
取締役	井内 良洋
取締役	上野 光宏
取締役	中谷 議人
取締役 (社外取締役)	吉川 興治
常勤監査役	山澤 茂
常勤監査役	寺岡 路正
監査役 (社外監査役)	小泉 英之
監査役 (社外監査役)	森本 宏

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

### 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル) (受付時間 平日9時~17時)
(ホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

## 株式の状況

発行可能株式総数	118,000,000株
発行済株式の総数	29,662,851株
単元株式数	100株
株主数	18,729名

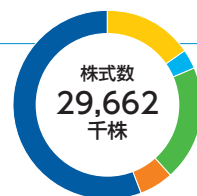
## 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
上東興産株式会社	4,661	15.73
上東 宏一郎	2,707	9.13
上東 洋次郎	1,458	4.92
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	726	2.45
上東 好子	638	2.15
株式会社りそな銀行	563	1.90
株式会社三井住友銀行	503	1.70
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	472	1.59
トーターエンジニアリング株式会社	432	1.46
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	431	1.46

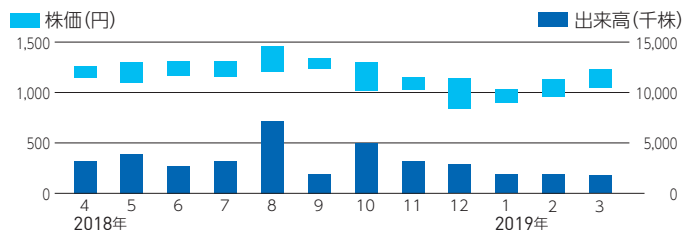
注)持株比率は自己株式(21,155株)を控除して計算しております。

## 株式分布状況

金融機関	4,577千株(15.43%)
証券会社	958千株(3.23%)
事業法人、その他法人	5,878千株(19.82%)
外国法人等	1,762千株(5.95%)
個人、その他	16,484千株(55.57%)



## 株価・出来高の推移



公告方法	電子公告により行う。ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行う。 (公告掲載URL) http://www.jcm-hq.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部
証券コード	6418

## 株式に関する「マイナンバー制度」について

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- 証券会社でお取引をされている株主様  
お取引の証券会社までお問い合わせください。
- 特別口座に記録されている株主様  
左記特別口座の口座管理機関までお問い合わせください。



日本金銭機械株式会社  
JAPAN CASH MACHINE CO., LTD.

〒547-0035 大阪市平野区西脇二丁目3番15号  
(お問い合わせ先)広報・IRグループ TEL(06)6703-8400

